

話すほうが力を貸していただきやすいということ、今感じています。

**山口** 官民一体型学校も、武雄市が全国に先導してその壁を少しずつ崩しているというのはすごいことですよね。

## 「組む」の持つ可能性

**市長** 「組む」って言葉、いろんなイメージが持てるのもいいなと思うんです。ラグビーのスクラム、組体操、あるいは〇年〇組など、誰もが自分なりに分かりやすいイメージが浮かぶ。

**岡本** 短ければ短いほど含蓄があるということですね。大綱「組む」で実現したいことに向かって、我々がじゃあどう取り組んでいくかという計画を立てるのも「組む」ですよ。

**市長** もう一つ、実は子どもたち自身もこれからは「組む」という精神・力

を育てていく必要があると思います。例えば皆で協力して問題を解決していく力など。そういうメッセージも実はここにはあるのではないかと。

**山口** おもしろいですね。「組む」という言葉だけで様々なイメージが広がり、「組む」主体もたくさん想像できます。

## 2016年は進める年

**市長** 昨年は大綱ができたので、今年はこれに沿って、一步一步と行動する年にしたいですね。

**犬走** 経営者として常日頃アピールが大事だと感じています。せっかくなので大綱ができて、伝わらないと意味がないので、PRに力を入れていきたいです。

**岡本** そうですね。少しでも多くの人に知ってもらいたいです。知ってもらうためにはやはり実行しかなないので、どんな行動に移せるか積極的に考えながら進めていきたいです。

**市長** 大事なことは、教育は市民の皆さんひとりひとりが実は関わっているということ。近所の子どもに「こんにちわ」と挨拶するのも教育だと思えます。だから、市民の皆さんひとりひとりも



**教育委員**  
**岡本 忠裕さん**  
あさひ保育園園長として日々幼児保育の現場で子ども達と向き合う。官民一体型学校の推進に力を注ぐ。

主人公として一緒に「組」んでもらいたいと考えています。

**山口** 学校、家庭だけではなく、地域が三本柱のひとつとなって子育てに加われれば、教育を通して武雄市全体が強い地域となりそうですね。

**市長** 官民一体型学校、ICT教育の推進は引き続き行い、さらに4月には神村学園ができます。どんな立場であつてもすべての子どもたちに学びの機会を提供したいという思いがありますので、こちらの「組む」もぜひ皆で進めていけたらと思います。

## 思いを「組」んで子どもたちを育てていく

**市長** ところで、お二人はこの書の書き手はどなたかご存知ですか？

**犬走** いえ、どなたですか？

**岡本** それだけは今日聞いて帰ろうと思っていたんです(笑)。

**市長** 実はこれ、山口先生なんです。やはり字によって思いが伝わると考え、教育現場に向き合われている先生にお願いしたんです。

**山口** 実は…。お恥ずかしい(笑)。最初はよく意味をつかめないまま書き始めましたが、これを教育の中で考えると様々な思いが浮かんできて、軽い気持ちでは書けないと大変緊張しました。70〜80枚は書きました(笑)。

**岡本** 日本で一番短い教育大綱。短いからこそ深いし、インパクトもあります。議論が広がり、我々の夢も広がりますね。書も可能性を感じる強さではないかと思いました。

**市長** こうやってたくさんさんの思いを「組」みながら、ぜひみんな子どもを育てていきましょう。



**教育委員**  
**犬走 智英さん**  
“勉強はスポーツだ!!”を合い言葉に頼もしくたくましい子どもを育てる「進学塾プレスト」を経営。二児の父。



**武雄市長**  
**小松 政**  
少しでも時間が空けば娘2人を連れてお出かけへ。一父親としての実感を市政に活かす。